

日本化学会第 92 春季年会併催

第 2 次先端ウォッチング：シングルセル解析による生命科学の新潮流

主催：日本化学会学術研究活性化委員会

共催：シングルサーベイヤ研究会

日時：3 月 26 日（月） 13:30-17:30

会場：SE 会場（第 6 校舎 J611 教室）

参加費：無料

申し込み：不要。直接会場にお越しください。

お問い合わせ：日本化学会 企画部 美園

電話：03-3292-6163 E-mail：misono@chemistry.or.jp

生命科学分野の解析技術はここ 10 年で飛躍的な進歩を遂げている。これらの先端技術を駆使することによって未知なる細胞機能が明らかになってきた。その中から、細胞個々に特性があることが見いだされ、シングルセルの生物学の必要性が指摘されている。本企画では、シングルセルバイオロジーに必要な、化学、工学、生物学等の幅広い分野の先生方に、シングルセル解析技術の現状と展望、さらにはアウトプットの側面から、シングルセル解析による医学、生物学研究の進展に関して報告していただく。

プログラム

13：30－13：40 はじめに 竹山春子（早稲田大学 理工学術院）

13：40－14：00 神原秀記（(株)日立製作所 中央研究所）「1 細胞中の mRNA 計測技術」

14：00－14：30 Ulf Landegren (Uppsala University)

“Tools for high-performance protein analyses”

14：30－14：55 植田充美（京都大学大学院農学研究科）「細胞内生体分子動態の網羅的実測定量への挑戦」

14：55－15：20 民谷栄一（大阪大学大学院工学研究科）「ES 細胞分化プロセスのバイオセンシング：1 細胞解析から細胞チップ開発まで」

15：20－15：50 松永 是（東京農工大学）「Microcavity array を用いた単一細胞集積化技術」

15：50－16：00 休憩

16：00－16：30 岸裕幸（富山大学大学院医学薬学研究部（医学）・生命融合科学教育部）「抗原特異的リンパ球の単一細胞レベルでの解析とその利用」

16：30－17：00 大和雅之（東京女子医科大学大学院 医科学研究科）「造血幹細胞の 1 細胞網羅的遺伝子解析」

17：00－17：30 落谷 孝広（国立がん研究センター研究所 分子細胞治療研究分野）「血液を循環するエクソソームによる 新規診断方法の可能性」

17：30－17：40 終わりに 神原秀記